

危険物施設における自主保安体制を再確認しよう

当庁管内における平成24年中の危険物施設等の事故件数(58件)は、平成23年の件数(98件)に比べ、大幅に減少しました。しかし今年(2022年)は3月31日現在で既に36件発生しています。

危険物施設等の事故は、貯蔵、取扱い上の不注意や維持管理不適等の人的要因、腐食等による設備の劣化等の物的要因により発生しています。これらの事故を低減させるには、それぞれの施設の特性に応じた危険要因を把握して、最もふさわしい対策を見出して実践する自主保安対策の取り組みが極めて重要となります。

危険物施設の点検指導について

危険物施設において、定期点検の実施又は予防規程の制定を義務付けられている施設のうち、製造所、屋内貯蔵所、屋外タンク貯蔵所、屋外貯蔵所及び一般取扱所については、その定期点検などの際、消防署の職員が立ち会ったうえで、必要な指導を行っています。

《危険物に関する知識を深めよう》

一般的に、“危険物”といえばガソリンや灯油などの燃料類を思い浮かべ、その他は特殊な場所で利用されていると思われがちです。しかし、実際には多くの危険物が身の周りで取り扱われており、例えば、スプレー缶や消毒用のアルコールに至るまで様々な危険物が利用されています。一方、利用者の中には危険性に対する関心が薄く、安易に取り扱ったり、廃棄したりするなどして火災等に至る事故が毎年発生しています。

危険物安全週間を機に身近な危険物の存在についてもう一度確認し、正しい取扱いや保管に努めましょう。

ガソリンや灯油、
軽油などの
燃料類



防水スプレー、制汗スプレー
などのガスを使用する
スプレー缶
ガスボンベ



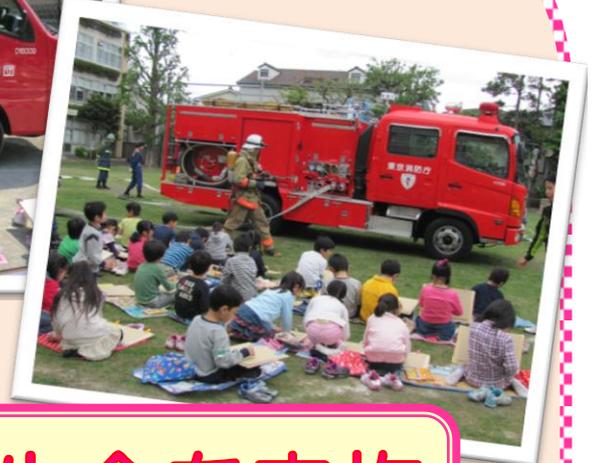
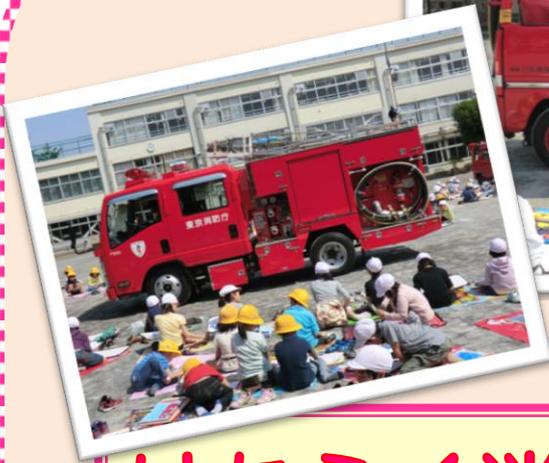
スプレー缶は、中身を出しき
ってから捨てないと、清掃車
の中で爆発し、火災になる
危険があります！

ウォッカなどの
高濃度アルコール
飲料



その他に…

除光液や接着剤、
アロマオイルまで
身近な危険物に当ては
まる可能性が。



はたらく消防の写生会を実施

杉並消防署では今年もたくさんの学生が一生懸命消防の絵を描いてくれました。写生中も「あれは何?」「消防士さんこっち向いて!」と意欲的に取り組んでいました。どの作品も活気に満ち、たいへんすばらしい絵になりました。



(杉並消防署管内 平成 25 年中災害件数 6月 9日現在)

火災件数 : 42件 (昨年比 ± 0件)

救急出場件数 : 8,453件 (昨年比 -54件)

◆◆◆◆◆防災に関する情報はホームページでも提供しています。◆◆◆◆◆

◎東京消防庁ホームページ <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/>

◎杉並消防署ホームページ <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-suginami/>

杉並消防署 (E-mail : suginami@tfd.metro.tokyo.jp)

※ 上記 E-mail での 119 番通報はできませんので、ご注意ください。